

イカナゴ情報 No.1 (2017 年 5 月)

平成 29 年 5 月 30 日

(平成 29 年 6 月 26 日 訂正)

稚内水産試験場調査研究部 (担当: 堀本) Tel. 0162-32-7166

宗谷海峡周辺において主に沖合底びき網により 6~9 月に漁獲されるイカナゴ類¹の漁獲物調査と漁場環境調査の結果についてお知らせします。

海洋観測: 漁場 (水深 40~80 m) における底層水温は昨年同時期より低め

宗谷海峡東方海域において 5 月 23~26 日に試験調査船北洋丸によるイカナゴ類漁場の環境調査を行いました (図 1)。

観測ラインの水温断面図をみると、ライン A では IS02 から IS05 (水深 40~80 m) の海域までは水温 4~6°C の水塊が占めていました。

ライン B ではごく沿岸域を除いて水温 8°C 以下の水塊が漁場全体を占めていました。昨年同時期と比較すると、イカナゴ類漁場周辺の底付近の水温はやや低い傾向がみられました。

ライン C でも水深 40 m 以深の海域を水温 8 度以下の水塊が占めていましたが、ライン A、B の同水深帯と比べると底付近は 6~8°C とやや高い傾向がみられました。

イカナゴ漁場に近い観測定点 OA10 の深度 60 m における水温の経年変化を図 2 に示しました。6 月の漁模様がよくなかった 2008 年、2012~2014 年はイカナゴ漁場付近の水温が低めで推移していました。今年はこれらの年と比べるとやや高く、2006 年、2009~2011 年と同程度の水温となっていました。

魚探観測: 水深 40~60 m にイカナゴ類とみられる棒状反応を確認

海洋観測と同じラインで実施した魚探観測では、ライン A の IS02 付近 (水深 40~60 m) でイカナゴ類の魚群と思われる反応がみられました。ライン B、C では目立った反応は見られませんでした (図 3)。

¹ イカナゴ類にはイカナゴ、オオイカナゴ、キタイカナゴの 3 種が含まれる (Orr *et al.*, 2015)

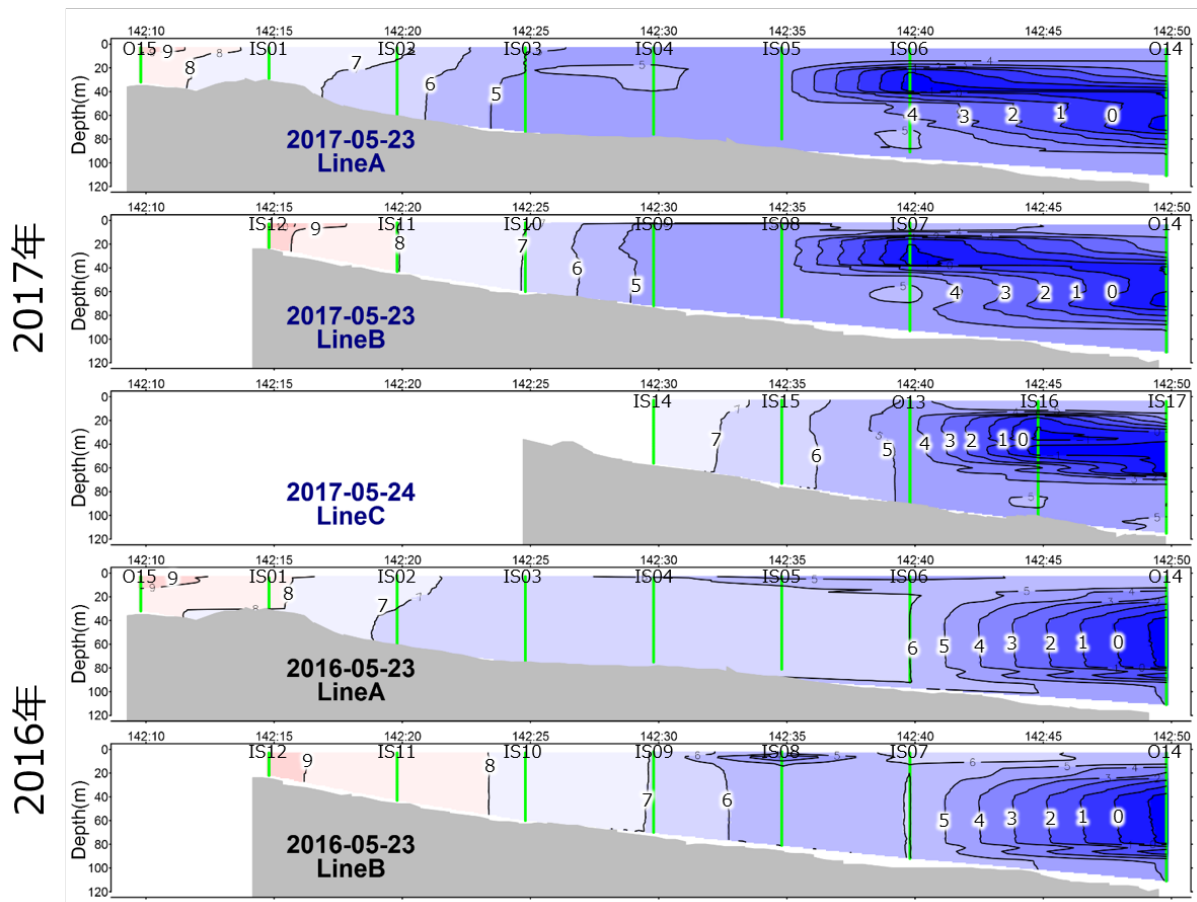
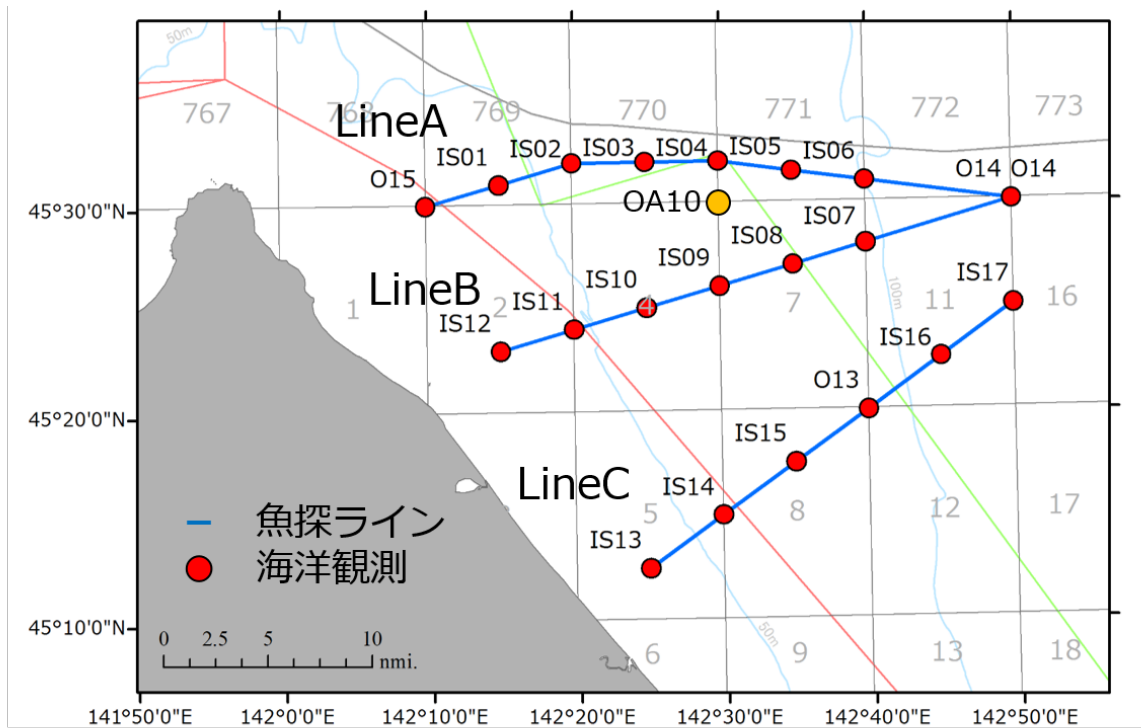


図 1. 海洋観測・魚探観測ラインの位置と水温断面図。
 昨年同時期の水温断面図も合わせて示した。

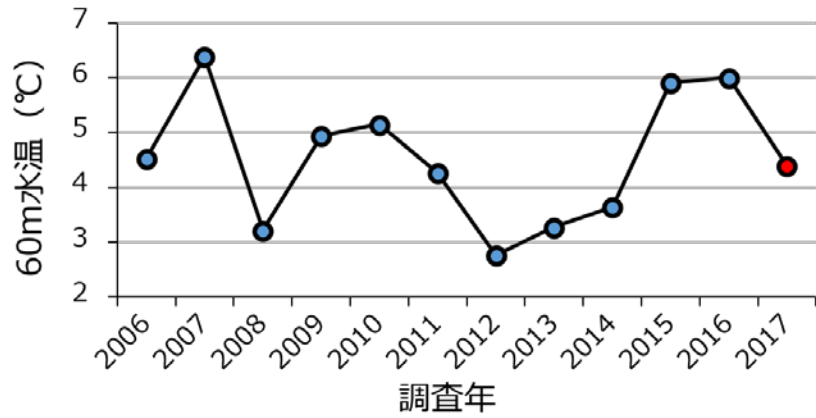


図2. 過去10年の6月定期海洋観測における定点0A10深度60 mの水温推移.
 2017年は0A10にもっとも近いIS04の観測結果を示した.
 (オホーツク海6月定期海洋観測は5月下旬~6月上旬に実施).

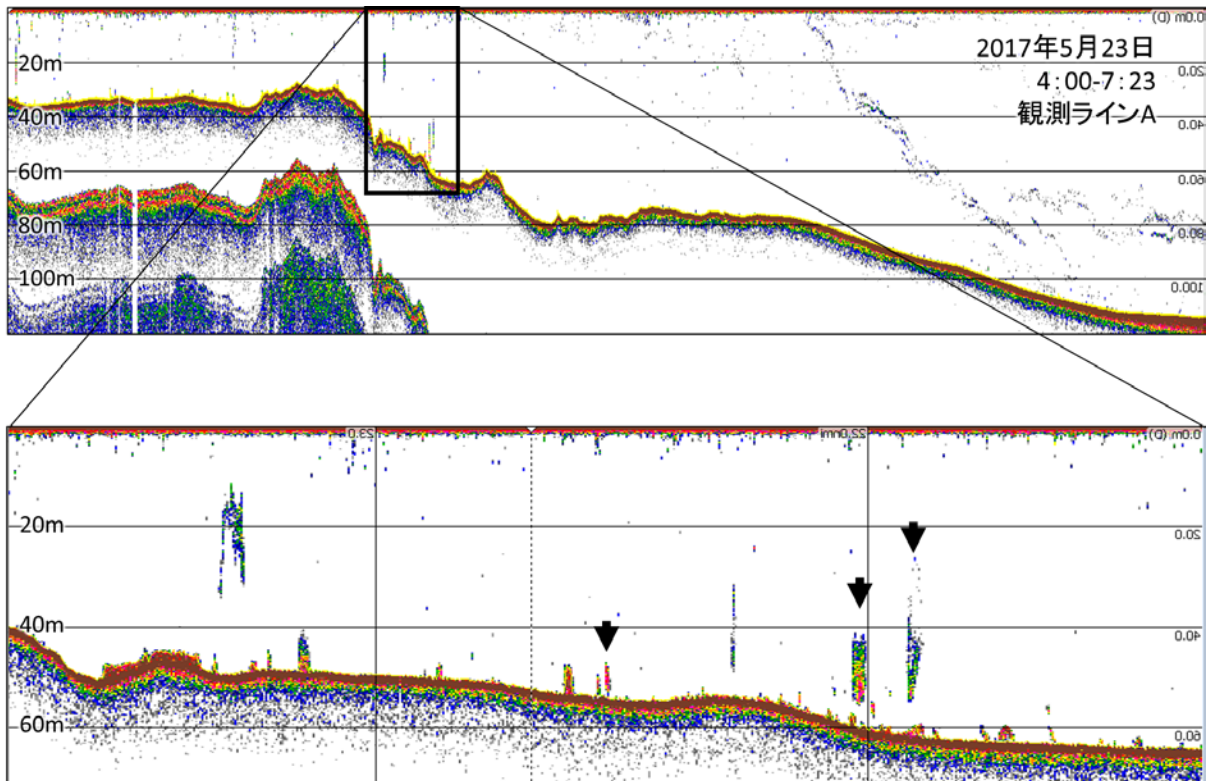


図3. 観測ラインにおける魚探反応. 下図は上図中黒枠内を拡大したもの. 水深60 m付近にイカナゴ類と思われる棒状反応(矢印で例示)が見られた.